

第44回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会(担当:土木史委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>)
2. 期日 2024(令和6)年6月22日(土)・23日(日)
3. 会場 名城大学天白キャンパス 共通講義棟北
4. 参加方法

ハイブリッド開催(発表者は原則として対面ですがオンラインも可)

5. 参加費

- ① 参加費 会員・非会員:3,000円、学生:1,500円
※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、
コンビニ払いは6月9日(日)、クレジット払いは6月16日(日)までに事前の参加申込みをお済ませください(WEB参加の方へは「URL」をお送りします)。
- ② 『土木史研究講演集 Vol.44』: 4,500円 (参加費は別途お支払いください)
※ 講演集は発表者および司会の方には、1冊無料でお届けいたします。
※ コンビニ払いは6月9日(日)、クレジット払いは6月16日(日)まで事前申込みを受付いたします。
- ③ シンポジウムのみ参加は無料です。
※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、6月16日(日)までに事前の参加申込みをお済ませください。

【①②③共通】の申込み窓口「本部主催行事の参加申込」 <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※懇親会を開催予定です。

- 1) 日 時 :2024(令和6)年6月22日(土) 18:30~20:00
- 2) 会場 :共催:名城大学天白キャンパス構内を予定
- 3) 参加費:一般4,000円、学生1,000円(予定)
- 4) 参加方法:当日の研究発表会会場受付で申し受けます

6. シンポジウム

◇令和6年度土木史研究発表会シンポジウム「中部で考える、水の歴史と文化をいかしたまちづくり」(主催:土木学会土木史委員会)

- 1) 日 時 :2024(令和6)年6月22日(土) 16:00~18:00
- 2) 会場 :名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 名城ホール
- 3) 参加費:無料
- 4) プログラム:水辺とまちでの取り組み事例報告・パネルディスカッション
佐々木 葉(早稲田大学)、原田 守啓(岐阜大学)、
秀島 栄三(名古屋工業大学)、司会:田中 尚人(熊本大学)

7. エクスカーション

◇見学会「堀川・中川運河の土木遺産と四間道・那古野のまちなみ」(主催:土木学会、共催:水辺とまちの入口研究所)

- 1) 日 時 :2024(令和6)年6月21日(金) 13:45 名古屋駅集合 17:30 ささしまライブで解散予定
- 2) 見学場所:堀川・中川運河を中心に船上から名古屋の土木遺産を辿るほか、四間道・那古野地区の見どころを巡ります
- 3) 定 員 :20名(予定)
- 4) 参加費:一般 3,500円(予定)
- 5) 申込方法:詳細が決まりましたら、土木史委員会のHPにてご案内します

8. プログラム

◆6月22日(土)

発表15分／質疑10分

時間	名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N202	時間	名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N203
8:45	開会挨拶 土木史委員会委員長		
9:00	【人物・教育】 司会: 原口 征人(一般社団法人北海道開発技術センター)	9:00	【データと土木史(企画セッション)】 司会: 林 倫子(関西大学)
	1 豊後土工と女たち(オンライン)★*	14 社会水文学におけるデジタル・ヒストリー —歴史データの構築と活用の事例— 中村 晋一郎(名古屋大学)	15 歴史資料の治水対策への活用の可能性について 山浦 直人(土木・環境しなの技術支援センター)・古本 吉倫・豊田 政史・宮下 秀樹
	谷川 竜一(金沢大学)	16 『兵庫北関入船納帳』を用いた 中世・瀬戸内海における港のネットワーク分析 TATOYAN DIMITRI(フランス国立科学研究センター)・山下 礼貴	17 港町油津における統合モデルビューアを活用した記憶遺産継承ツールの検討
	2 大畑才蔵に関する一次史料の再整理とそのなかで示された評価★ 西山 孝樹(日本大学)・藤田 龍之・天野 光一	10:40	田中 尚吾(日本大学大学院)・永村 景子
	3 徳島の橋の歴史を学べるかるたの作成とその活用 森山 卓郎(阿南工業高等専門学校)	10:50	【河川・水道】 司会: 坂本 貴啓(金沢大学)
	4 ラオス遠隔地高校生就学支援事業の持続可能性に関する考察★ 坂井 華海(熊本大学大学院)・田中 尚人	18 筑後川 デ・レーク導流堤の解体移設について 伊納 浩	19 姫路市における旧陸軍第十師団の軍用水道敷設過程及びその変遷に関する研究★ 伊納 蒼平(近畿大学大学院)・岡田 昌彰
10:40		20 大河津分水自在堰陥没と信濃川補修工事における広報等の工夫 樋口 勲(株式会社エコロジーサイエンス)	21 五ヶ瀬川・大瀬川の鮎築漁における技術と文化の継承に関する研究★ 小川 連太郎(株式会社建設技術研究所)
10:50	【エネルギー・橋梁・人物】 司会: 岩本 一将(京都工芸繊維大学)	12:30	
	5 東京築港着手、丹羽鋳彦と岡田川口改良第三期工事 手島 道人(特定非営利活動法人 首都東京みなと創り研究会)・寺中 啓一郎	13:30	【土木史一般】 司会: 知野 泰明(日本大学)
	6 国登録有形文化財・奥津発電所調整池の改修工事について★ 樋口 輝久(岡山大学)	22 土木史研究における耐久性についての考察* 武市 修一	23 土木の仕敗學* 福島 啓一
	7 大谷川・中禅寺湖における水資源開発と景観配慮の歴史的関係★ 穂積 里紀(福島市役所)・中川 嵩章	24 蛇島ガソリン庫跡の調査★ 小笠原 芳奈(舞鶴工業高等専門学校)・毛利 聡・牧野 雅司・松崎 健太	25 足尾銅山の採鉱技術の近代化の視点 —近世から近代への歩み—★ 青木 達也(宇都宮大学)
	8 鎌倉時代の東海道の渡河施設について 松村 博	26 北海道開拓「札幌本道」建設にみる技術移転 —近代西欧土木技術の移入例として— 原口 征人(一般社団法人北海道開発技術センター)・今 尚之・石川 成昭	15:35
12:30			
13:30	【城下町・災害】 司会: 山口 敬太(京都大学)		
	9 濠及び堀割に着目した近世城下町の類型化の試み★ 阿部 貴弘(日本大学)・中川 恵・松野 祐太・田中 滋夫・伊藤 毅・篠原 修		
	10 関東大震災復興における墓地移転に関する基礎的研究 平田 悠(日本大学大学院)・大沢 昌玄		
	11 旧長島町における昭和42年干ばつによる被害及び対策事業 本田 泰寛(第一工科大学)・寺村 淳・玉代 勢孝也		
	12 球磨川人吉城下付近の近世治水システムとその変遷に関する一考察★ 寺村 淳(大正大学)		
	13 近世城下町人吉における城下町設計の論理と治水機能評価★ 三木 歩嵩(株式会社ワークヴィジョンズ)・星野 裕司・中島 直弥		
15:35			
16:00	シンポジウム／講演会 会場: レクチャーホール ●シンポジウム「中部で考える。水の歴史と文化をいかしたまちづくり」 水辺とまちでの取り組み事例報告・パネルディスカッション 佐々木 葉(早稲田大学)、原田 守啓(岐阜大学)、 秀島 栄三(名古屋工業大学)、司会: 田中 尚人(熊本大学)		
18:00			

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表

* オンライン参加者

◆6月23日(日)

発表15分/質疑10分

時間	名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N202
9:00	【遺跡および砂防施設】 司会:真田 純子(東京工業大学)
	27 熊田山北古墳群の墳丘築造工法について★ 近藤 美穂(各務原市埋蔵文化財調査センター)・西村 勝広・可児 幸彦
	28 遺跡地盤工学から見た土塁保存原則の試案 福田 光治(KGIE)
	29 近世城郭石垣の円弧すべり逆解析による耐震性評価の試み 山中 稔(香川大学)・田中 松佑・西形 達明
	30 近世最大の砂防施設群“別所砂留”(第七報) —レーザー計測による砂留の記録保存— 樋口 輝久(岡山大学)
	31 砂防技術者蒲葺が残した資料 白井 芳樹・小川 紀一朗・是松 慧美
11:05	
11:20	緒方英樹氏, 阿部貴弘氏, 令和4年度土木学会賞受賞を祝う会 令和4年度 土木学会出版文化賞:「大地を拓く」 緒方英樹 著 理工図書株式会社 2022年 令和4年度 研究業績賞:「近世都市における都市設計論理と水辺空間の変遷に関する研究」 阿部貴弘
11:50	
13:00	【鉄道およびまちづくり】 司会:福井 恒明(法政大学)
	32 大正期の高野川・賀茂川改修と埋立地開発:官民一致による河川・住宅地一体整備★ 谷川 陸(京都大学)・畑 喬介・山口 敬太・川崎 雅史
	33 戦時下東京における建物疎開の都市計画的意図 —スプロール市街地における 細道路網の計画との対応に着目して—★ 筑 大輝(東京大学大学院)・中川 恵・中井 祐
	34 東武鉄道・北千住駅周辺に残存するレンガ積み橋台遺構と荒川放水路建設によるルート変更★ 吉川 慎平(自由学園最高学部(大学部))・吉川 昭二
	35 1970年前後の横浜貨物別線における住民運動と環境対策に関する一考察 高津 俊司(日本コンサルタンツ株式会社)
	36 小林一三の箕面有馬電気軌道計画の取り組み★* 阿部成久(NPO法人愛媛県建設技術支援センター)
15:05	
15:20	若手優秀講演賞表彰 土木史委員会発表小委員会
15:30	
15:40	総括および閉会挨拶 土木史委員会副委員長 田中尚人

時間	名城大学天白キャンパス 共通講義棟北 N203
9:00	【土木遺産と中部の土木史】 司会:秀島 栄三(名古屋工業大学)
	37 自治体計画における選奨土木遺産の 位置づけに関する研究 工藤 奈々(前日本大学大学院)・大沢 昌玄
	38 戦後土木施設として歴史・文化的価値の高い砂防施設の利活用について★ 澤 陽之(アジア航測株式会社)・小川 紀一朗・岡本 敦
	39 土木遺産等を活用した学生等の授業支援活動 木村 智行(土木・環境しなの技術支援センター)・白田 敦・高藤 亨仁・宮沢 洋介・小野 和行・塩野 敏昭・山浦 直人・古本 吉倫・小西 純一
	40 江戸時代創設の半田水道 —沿革と現状— 小林 勇・神吉 和夫
	41 東海地方における第二次世界大戦中の工業都市計画の展開 大森 文彦(東京工業大学)
11:05	
11:15	
11:45	
13:00	【治水】 司会:二井 昭佳(国士舘大学)
	42 地形と治水対策に着目した 水防建築「段蔵」の地盤高の設定意図 —大阪府淀川流域の围堤集落を対象として—★ 小西 佑典(大阪府)・林 倫子
	43 水害常襲地における市街地の形成過程 —諫早市街地を事例に—★ 津川 翔(長崎大学大学院)・石橋 知也
	44 石狩川水系忠別川で戦後に施工された霞堤群の排水処理機能に関する考察★ 皆田 峻(元関西大学大学院)・林 倫子・寺村 淳・岩田 圭佑・榎本 碧・越山 直子
	45 大谷川の荒川堰堤と多様な水害対策 滋賀県大津市荒川地区の事例から★ 落合 知帆(京都大学大学院)
	46 歴史的橋梁の洪水対策技術から学ぶ今後の超過洪水リスク軽減に向けた提案 原田 昭臣(一般財団法人 災害科学研究所)・里深 好文
15:05	

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表
* オンライン参加者